

チーム豊成の力を高め、「潤いと勢い」のある学校づくり

# Connect



帯広市立豊成小学校 キャリアプロジェクト通信

令和6年7月11日  
NO.4 文責 河村

キャリア

## 機関庫の川から学ぶ自分達の生活と自然環境のつながり

5月1日（水）に、サケの稚魚を放流し、石垣さんから詳しくサケについてのお話を聞くことができた3年生の子どもたち。石垣さんのお話の中で、川で産卵を終えたサケは、水生生物のえさになり、卵からかえったサケの赤ちゃんは、水生生物を食べて大きくなることを知ることができました。サケと水生生物の繋がりについて知った子どもたちは、さっそく、機関庫の川に棲む水生生物を調べてみることにしました。



今年度初めて入る機関庫の川の学習は、とても楽しい時間となったようです。どの子どもたちも、川に入ることを怖がる様子もなく、昨年までの経験を生かし、素早く川の学習に入ることができました。水生生物がいそうな石を見つけて、トレイでその石を洗いながら、積極的に頑張る姿が見られました。この学習では、機関庫の川でサケが育つ環境が整っていることについて、改めて知ることができました。



6月27日（木）には、3年生みんなで機関庫の川に棲んでいる生き物探しをすることにしました。たくさんのザリガニやヤマメ、フクドジョウ、ハナカジカを見つけてことができました。この日に見つけた生き物の中で、飼育できるものについては、機関庫

ホールの水槽で飼うことにしました。子どもたちの不思議に思ったことを解決していくために、引き続き、機関庫の川での学習を進めていきます。



「機関庫の川」で見つけたもの、不思議に思ったこと

- たくさん生き物がある場所とない場所がありました。川のはじの方にあみを入れると魚やザリガニを見つけたことができました。
- 生き物をじっくりかんさつすることができました。ヤマメを見ると細長い形のもようがありました。
- ザリガニがたくさんいてびっくりしました。どうしてこんなにいるのかふしぎに思いました。
- きかんこの川は、どのくらいの長さがあるのかくわしく調べたいと思いました。
- 水生生物は、サケのように何かがんばっていることがあるのかについて知りたいです。